



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 管理者ユーザができること
 - 2.1.1. 管理者画面
 - 2.1.2. ジョブ・ジョブネット
 - 2.2. IM-共通マスタ 情報の検索仕様
 - 2.2.1. 会社管理者機能（会社間認可あり）
 - 2.2.2. テナント管理者機能（会社間認可なし）
- 3. 画面操作編
 - 3.1. メール利用状況表示画面
 - 3.2. メールメンテナンス画面
 - 3.3. メール詳細画面(管理用)
 - 3.4. ユーザ環境設定一覧画面
 - 3.5. ユーザ環境設定ダイアログ
 - 3.6. EMLエクスポート タスク管理画面
 - 3.6.1. 検索条件
 - 3.6.2. 依頼一覧
 - 3.6.3. 依頼の詳細 ダイアログ
 - 3.6.4. エクスポートファイル
 - 3.7. 対応するファイル拡張子形式
- 4. ジョブネット操作編
 - 4.1. 期限切れメール削除ジョブネット
 - 4.2. 期限切れ添付ファイル削除ジョブネット
 - 4.3. 利用者環境設定情報インポートジョブネット
 - 4.4. 利用者環境設定情報置換インポートジョブネット
 - 4.5. 利用者環境設定情報エクスポートジョブネット
 - 4.6. 添付ファイル保存位置是正ジョブネット
 - 4.7. EMLエクスポートタスク実行ジョブネット
 - 4.8. 無効メールの実データ削除ジョブネット

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-08-01	初版
2015-11-30	第2版 下記を追加・変更しました 「IM-共通マスタ 情報の検索仕様」に注意事項を追加
2016-07-01	第3版 下記を追加・変更しました 「ジョブネット操作編」に添付ファイル保存位置是正ジョブネットを追加
2017-04-01	第4版 下記を追加・変更しました 一部、画像の差替え
2017-08-01	第5版 下記を追加・変更しました 「メール詳細画面(管理用)」の宛先について(TO、CC、BCC共通)の説明を変更 「メールメンテナンス画面」の表示・入力項目にメールの宛先表示時のソート順についてを追加
2018-02-01	第6版 下記を追加しました 「ジョブネット操作編」の更新系のジョブのコミット件数についての注意を追加
2018-12-01	第7版 下記を追加しました 「ユーザ環境設定一覧画面」のメール送受信とデータ使用量についての注意を追加
2020-08-01	第8版 下記を追加・変更しました 「管理者ユーザができること」を以下の通り変更 - EMLエクスポートに関する管理画面、ジョブネットの説明を追加 「無効メールの実データ削除」ジョブネットの説明を追加 「添付ファイル保存位置是正」ジョブネットの説明を追加 - 概要的な説明を追加・更新 「IM-共通マスタ 情報の検索仕様」に詳細な説明を補足 「EMLエクスポート タスク管理画面」を追加 「ジョブネット操作編」へEMLエクスポートタスク実行ジョブネット、無効メールの実データ削除ジョブネットを追加
2022-12-01	第9版 下記を追加・変更しました 「ジョブネット操作編」ヘデータベースにより必須になる commit-count パラメータの注記を追加しました。

はじめに

ここでは、intra-mart Accel GroupMail 管理者ユーザの基本的な説明をします。

管理者ユーザができること

管理者画面

管理者向けに提供する管理者画面機能を以下に示します。

管理者画面は会社間の認可を考慮しない管理者機能と、会社間の認可を考慮する管理者機能（会社管理者機能）の2種類つつ存在します。会社管理者機能では認可のある会社の対象ユーザに対してしか管理することができません。

メールメンテナンス

全ユーザのメールに対して、以下の操作ができます。

- メール参照
- メール削除
- 添付ファイルの削除

また、オプションによりメールの実データ削除をユーザの削除操作から分離している場合は、実態が削除されていないメールの残件数を確認できます。

ユーザ環境設定

ユーザ単位で、以下の環境設定ができます。

- 最大使用データ量(単位: MB)
- メールの有効保存期間

利用状況表示

全ユーザのメール利用状況を表示できます。

EMLエクスポートタスク管理

EMLエクスポートはユーザがタスクを依頼する形で依頼登録され、ジョブによって非同期に順次処理されます。EMLエクスポートタスク管理では依頼されたタスクの状況確認や管理をすることができます。

ジョブ・ジョブネット

以下のジョブネットを提供します。

- 期限切れ添付ファイル削除
システム設定ファイルで設定された保管期間を過ぎて保存されているメールの添付ファイルを削除し使用容量の削減を図ります。
- 期限切れメール削除
ユーザごとに設定した保管期限を過ぎて保存されているメールを削除し使用容量の削減を図ります。
- 利用者環境設定情報エクスポート
利用者環境設定情報を全てエクスポートします。
- 利用者環境設定情報インポート
利用者環境設定情報をインポートします。インポートファイルの情報は追記・上書きされます。インポートファイルに無いユーザの情報はそのまま残されます。
- 利用者環境設定情報置換インポート
利用者環境設定情報を一度全て削除してから、インポートします。
- 添付ファイル保存位置是正
8.0.0, 8.0.1, 8.0.2 で発生する添付ファイルの保存位置が不正になる（画面から添付ファイルがダウンロードできなくなる）問題について、すでに保存されている添付ファイルの位置を是正するジョブです。問題が発生しないなければ実行する必要はありません。

- 無効メールの実データ削除
設定によりメールの実データ削除をユーザ操作から分離している場合、このジョブを設定して非同期的に実行することで無効になったメールの実データを削除できます。
- EMLエクスポート
ユーザが登録したEMLエクスポート依頼を順次処理し、ストレージにエクスポートファイルを出力します。

IM-共通マスタ 情報の検索仕様

会社間認可の有無と検索対象ごとの、IM-共通マスタ の検索仕様について説明します。

会社間認可

複数の会社を作成して運用する場合、会社間で認可を設定することができます。

intra-mart Accel GroupMail の管理者機能では同じ機能でありながら会社間の認可を考慮するものと考慮しないものの2種類づつが存在します。

会社間の認可を考慮しない管理者機能（以降テナント管理者機能と表記）では認可に影響されないため、認可設定の有無にかかわらず全てのユーザに関するメールや設定を参照・管理できます。

会社間の認可を考慮する管理者機能（以降会社管理者機能と表記）では認可により参照可能に設定されている会社のユーザに関するメールや設定を管理できます。各画面の検索条件としてユーザを指定する際や、無条件に検索した際に対象となる範囲が認可によって参照可能な会社の範囲のみに制限されます。

所属無ユーザ

所属先のないユーザは会社管理者機能では検索結果などに表示されることがなく、管理することができないため注意が必要です。会社間の認可を考慮しない管理者機能（以降テナント管理者機能と表記）では所属無ユーザの設定やメールデータの管理が可能です。



注意

ユーザ機能においても管理者機能においてもアプリケーションライセンスについては付与されているか否かは考慮されていません。

アプリケーションライセンスがないユーザはそもそも intra-mart Accel GroupMail を利用することができないにも関わらず、他の利用者からは宛先としては利用できる状態となってしまうため、そのようなユーザはIM共通マスタで無効化しておくか、認可によって表示できないようにしておく必要があります。

アプリケーションライセンスの付与については「[intra-mart Accel Platform テナント管理者操作ガイド](#)」－「[アプリケーションライセンス一覧を使用する](#)」を参照してください。

会社管理者機能（会社間認可あり）

1. ユーザ検索

検索画面のタブ		所属無ユーザ ○：検索可 X：検索不可 ー：対象外
ユーザ(キーワード)	ユーザの認可によって許可されている組織全体からユーザ名を検索して選択します。	×
会社組織(キーワード)	会社の認可によって許可されている組織からキーワード検索し、選択した会社組織に所属するユーザを選択します。	×
会社組織(ツリー)	会社の認可によって許可されている組織のみのツリーから選択した会社組織に所属するユーザを選択します。	×

検索画面のタブ	所属無ユーザ O : 検索可 X : 検索不可 - : 対象外
パブリックグループ(キーワード) パブリックグループからキーワード検索し、選択したパブリックグループに所属するユーザを選択します。	O (注)
パブリックグループ(ツリー) パブリックグループのツリーから選択したパブリックグループに所属するユーザを選択します。	O (注)
プライベートグループ 一覧から選択したプライベートグループに所属するユーザを選択します。	O (注)

**注意**

パブリックグループ、プライベートグループに所属している場合、参照することができます。

2.会社組織検索

検索画面のタブ	所属無ユーザ O : 検索可 X : 検索不可 - : 対象外
会社組織(キーワード) 会社の認可によって許可されている組織からキーワード検索し、会社組織を選択します。	-
会社組織(ツリー) 会社の認可によって許可されている組織のみのツリーから会社組織を選択します。	-

3.パブリックグループ検索

検索画面のタブ	所属無ユーザ O : 検索可 X : 検索不可 - : 対象外
パブリックグループ(キーワード) パブリックグループをキーワード検索し、パブリックグループを選択します。	-
パブリックグループ(ツリー) パブリックグループのツリーからパブリックグループを選択します。	-

**コラム****管理画面各種の検索結果について**

会社間の認可によって許可されている組織のユーザから検索を行います。
 このとき所属無ユーザは検索されません。

テナント管理者機能（会社間認可なし）**1.ユーザ検索**

検索画面のタブ		所属無ユーザ ○：検索可 X：検索不可 ー：対象外
ユーザ(キーワード)	全てのユーザ名を検索して選択します。	○
会社組織(キーワード)	会社の認可によって許可されている組織からキーワード検索し、選択した会社組織に所属するユーザを選択します。	○
会社組織(ツリー)	会社の認可によって許可されている組織のみのツリーから選択した会社組織に所属するユーザを選択します。	○
パブリックグループ(キーワード)	パブリックグループからキーワード検索し、選択したパブリックグループに所属するユーザを選択します。	○
パブリックグループ(ツリー)	パブリックグループのツリーから選択したパブリックグループに所属するユーザを選択します。	○
プライベートグループ	一覧から選択したプライベートグループに所属するユーザを選択します。	○

**注意**

パブリックグループ、プライベートグループに所属している場合、参照することができます。

2.会社組織検索

検索画面のタブ		所属無ユーザ ○：検索可 X：検索不可 ー：対象外
会社組織(キーワード)	全ての組織からキーワード検索し、会社組織を選択します。	ー
会社組織(ツリー)	全ての組織のツリーから会社組織を選択します。	ー

3.パブリックグループ検索

検索画面のタブ		所属無ユーザ ○：検索可 X：検索不可 ー：対象外
パブリックグループ(キーワード)	パブリックグループをキーワード検索し、パブリックグループを選択します。	ー
パブリックグループ(ツリー)	パブリックグループのツリーからパブリックグループを選択します。	ー

**コラム****管理画面各種の検索結果について**

所属無ユーザを含めた、全てのユーザから検索を行います。

画面操作編

ここでは、intra-mart Accel GroupMail の管理者用画面の操作について説明します。

メール利用状況表示画面

ユーザのメール利用状況を表示します。

表示する内容は、以下になります。

- 送信件数
- 受信件数
- 未受信件数
- 保存件数

i コラム

■ 表示対象ユーザの制限について

実行するメニューで表示対象のユーザが制限されます。

- 利用状況表示
全ユーザを表示します。
- 利用状況表示(会社管理)
ログインユーザに参照権限のある会社 소속するユーザを表示します。

1. レイアウト

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理の利用状況表示」の順にクリックし、画面を表示します。

利用状況表示 - GroupMail

検索条件

期間

(1)

(2)

対象ユーザ

ユーザを選択してください

(3)

検索

ユーザ名	送信件数	受信件数	未受信件数	保存件数
円山益男		3	0	0
関根千香		2	0	3
吉川一哉		0	1	0
上田辰男		0	3	0
生田一哉		0	2	0
青柳辰巳		7	0	9
大磯博文		0	6	0
萩本順子		8	0	1
片山聡		0	1	0
林政義		4	1	0

1 ページ中 1 ページ目 10 件中 1 - 10 を表示

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart top ↑

(1) 開始日カレンダー (2) 終了日カレンダー (3) 対象ユーザクリア

2. 表示・入力項目

項目	説明
----	----

項目	説明
検索条件	開閉可能なコンテンツ領域(アコーディオン)で表示します。 画面表示時は開いた状態での表示となります。 1. 期間 検索するメールの受信日、送信日、保存日を期間で入力します。 画面表示時は空欄となります。 2. 対象ユーザ メール利用状況を検索するユーザを入力します。 IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。 画面表示時は空欄となります。
利用状況一覧	検索した結果を一覧表示します。画面表示時は利用状況一覧は表示されません。 検索直後はユーザ名の昇順で一覧表示しますが、以下の項目で並び替えを行うことができます。 ● ユーザ名 ● 送信件数 ● 受信件数 ● 未受信件数 ● 保存件数 1. ユーザ名 検索対象のユーザ名を表示します。 2. 送信件数 検索対象のユーザの送信済みメール件数を表示します。 3. 受信件数 検索対象のユーザの受信メール件数を表示します。 4. 未受信件数 検索対象のユーザの未受信メール件数を表示します。 5. 保存件数 検索対象のユーザの保存メール件数を表示します。



コラム

■ 利用状況一覧の表示について

利用状況一覧の表示件数は、intra-mart Accel GroupMail 設定ファイル(conf/iag-system-config.xml) の設定に従います。

ページャ部の表示件数切り替え用セレクトボックスの表示はありません。

送信件数、受信件数、未受信件数、保存件数の書式は"#,##0"となります。

3. 操作項目

項目	説明
----	----

項目	説明
検索条件	1. 期間(開始日) フォーカス取得時、期間(開始日)を設定するカレンダーを表示します。 フォーカス喪失時は期間(開始日)を設定するカレンダーを閉じます。 1.1. 期間(開始日カレンダー) 期間(開始日)を設定するカレンダーを表示します。 カレンダーで選択した日付は、期間(開始日)に設定されます。  画面表示時は期間(開始日)の設定値を初期選択します。 但し、期間(開始日)が空欄または日付以外の場合は、現在日が選択されます。 2. 期間(終了日) フォーカス取得時、期間(終了日)を設定するカレンダーを表示します。 フォーカス喪失時は期間(終了日)を設定するカレンダーを閉じます。 2.1. 期間(終了日カレンダー) 期間(終了日)を設定するカレンダーを表示します。 カレンダーで選択した日付は、期間(終了日)に設定されます。  画面表示時は期間(終了日)の設定値を初期選択します。 但し、期間(終了日)が空欄または日付以外の場合は、現在日が選択されます。
先月	「先月」をクリックすると、期間に先月の開始日と終了日を設定します。 但し、期間(開始日)の入力がある場合は、期間(開始日)の1ヵ月前から1ヵ月間の開始日と終了日を設定します。
先週	「先週」をクリックすると、期間に先週の開始日と終了日を設定します。 週の開始日はカレンダー設定の週の開始曜日になります。 但し、期間(開始日)の入力がある場合は、期間(開始日)の1週間前から1週間の開始日と終了日を設定します。
今月	期間に今月の開始日と終了日を設定します。
今週	期間に今週の開始日と終了日を設定します。 週の開始日はカレンダー設定の週の開始曜日になります。

項目	説明						
対象ユーザ検索	対象ユーザを設定する IM-共通マスタ 検索画面を表示します。 IM-共通マスタ 検索画面で決定したユーザを対象ユーザに設定します。 表示する IM-共通マスタ 検索画面の設定は以下の通りになります。 <table> <tr> <td>ユーザ選択</td><td>単一選択</td></tr> <tr> <td>基本情報</td><td>編集可能</td></tr> <tr> <td>検索画面タブ</td><td> ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ </td></tr> </table>	ユーザ選択	単一選択	基本情報	編集可能	検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ
ユーザ選択	単一選択						
基本情報	編集可能						
検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ						
対象ユーザクリア	対象ユーザに設定したユーザを削除します。						
検索	入力した検索条件でメール検索を行い、検索結果を利用状況一覧に表示します。 検索結果が0件の場合は、ページャ部に「表示するレコードがありません。」を表示します。						
利用状況一覧 - ユーザ名	選択したユーザ名の現時点のユーザ情報詳細ダイアログを表示します。 ユーザ情報詳細ダイアログについては「ユーザ操作ガイド」-「4.11. ユーザ情報詳細ダイアログ」を参照してください。						

コラム

■ IM-共通マスタの検索仕様について

対象ユーザ検索を実行する際に表示される IM-共通マスタ の検索仕様については「[IM-共通マスタ 情報の検索仕様](#)」を参照してください。

コラム

■ 検索について

検索は検索条件のAND条件で実施します。

■ 検索条件別の検索範囲の特記事項

● 期間

開始日と終了日の入力値による検索範囲は以下となります。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ・ 開始日有かつ終了日無 | 開始日 ≤ 送信日、保存日、受信日 |
| ・ 開始日無かつ終了日有 | 送信日、保存日、受信日 ≤ 終了日 |
| ・ 開始日有かつ終了日有 | 開始日 ≤ 送信日、保存日、受信日 ≤ 終了日 |
| ・ 開始日無かつ終了日無 | 全てのメール |

● 対象ユーザ

特になし

注意

■ 関連チェック

検索を実行する際、以下の条件の場合は処理が中止されメッセージを表示します。

条件	メッセージ
検索条件の期間(開始日) > 期間(終了日)の場合	終了日は開始日以降の日付を入力してください。

メールメンテナンス画面

全ユーザのメール一覧を表示します。

メールメンテナンス画面から、以下の操作を行うことができます。

- メール内容の表示
- メール削除

i コラム

■ 表示対象ユーザの制限について

実行するメニューで表示対象のユーザが制限されます。

- メールメンテナンス
全ユーザを表示します。
- メールメンテナンス(会社管理)
ログインユーザに参照権限のある会社に所属するユーザを表示します。

1. レイアウト

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理のメールメンテナンス」の順にクリックし、画面を表示します。

メールメンテナンス - GroupMail

検索条件

キーワード

検索キーワード 前方一致▼

☐ 件名 ☐ 本文 ☐ 添付ファイル名

差出人

ユーザを選択してください

受取人

ユーザを選択してください

送信日

から

まで

サイズ

から まで

メール削除

☐	!	📎	件名	日時	差出人	宛先	宛先数	サイズ
☐			<件名なし>	2015/06/11 18:53	青柳辰巳	AAA-000PrivG, AAB-001PrivG, AAC	101	0 B
☐			Re:件名1	2015/06/15 11:46	青柳辰巳	船津佳那恵	1	6.0 B
☐		📎	Fw:件名1	2015/06/15 11:46	青柳辰巳	関根千香	1	278 B
☐			Fw:件名2	2015/06/15 11:47	青柳辰巳	関根千香	1	238 B
☐			Re:件名3	2015/06/15 11:47	青柳辰巳	船津佳那恵	1	6.0 B
☐			<件名なし>	2015/06/16 10:17	青柳辰巳	AAG-006組織, AAH-007組織, ハブ	9	0 B
☐			下位のメール	2015/06/16 10:20	青柳辰巳	青柳辰巳	1	6.0 B
☐			<件名なし>	2015/06/16 10:32	青柳辰巳	AAG-006組織, AAH-007組織, AAA-0	9	0 B

3 ページ中 2 ページ目
24 件中 11 - 20 を表示

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by intra-mart top ↑

(1) 差出人クリア (2) 受取人クリア (3) 開始日カレンダー (4) 終了日カレンダー

2. 表示・入力項目

項目	説明
----	----

項目	説明
検索条件	開閉可能なコンテンツ領域(アコーディオン)で表示します。 画面表示時は開いた状態での表示となります。 画面表示時の設定は以下の通りになります。 1. キーワード チェックした検索対象から検索するキーワード文字列と一致条件を入力します。 画面表示時はキーワード文字列は空欄、一致条件は「前方一致」、検索対象は全てチェック無となります。 一致条件はリストから以下の項目を選択できます。 ● 前方一致 ● 部分一致 ● 完全一致 検索対象はチェックボックスから以下の項目を選択できます。 ● 件名 ● 本文 ● 添付ファイル名 2. 差出人 検索するメールの送信者を入力します。 IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。 画面表示時は空欄となります。 3. 受取人 検索するメールの受信者を入力します。 IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。 画面表示時は空欄となります。 4. 送信日 検索するメールの送信日、保存日を期間で入力します。 画面表示時は空欄となります。 5. サイズ 検索するメールのサイズをKB単位で入力します。 検索範囲はリストから以下の項目を選択できます。 ● 設定しない ● 次のサイズ以上 ● 次のサイズ以下 検索範囲で「設定しない」を選択した場合、テキストボックスは非活性になります。 画面表示時は検索範囲は「設定しない」、テキストボックスは空欄となります。

項目	説明
メール一覧	検索した結果を一覧表示します。画面表示時はメール一覧は表示されません。 検索直後は日時の降順で一覧表示しますが、以下の項目で並び替えを行うことができます。 ● 重要 ● 添付ファイル ● 件名 ● 日時(送信日時、保存日時) ● 差出人(ユーザ名) ● 宛先数 ● サイズ(バイト) 1. チェックボックス メール削除の対象メールを選択します。 2. 重要  重要にチェックがあるメールの場合に表示されます。 3. 添付ファイル有無  添付ファイルがあるメールの場合に表示されます。 4. 件名 メールの件名を表示します。 件名が未設定の場合は"<件名なし>"を表示します。 5. 日時 送信済みメールの場合、メールの送信日時を表示します。 下書きメールの場合、メールの保存日時を表示します。 6. 差出人 送信済みメールの場合、メールの送信者を表示します。 下書きメールの場合、メールの保存者を表示します。 7. 宛先 メールの宛先(TO/CC/BCC)を表示します。 宛先が複数の場合は、宛先(TO/CC/BCC)の順かつシステム設定ファイルの設定に従って並び替えられ、カンマ区切りで表示されます。 詳しくは、コラム「メール宛先表示時のソート順について」を参照してください。 8. 宛先数 メールの宛先(TO/CC/BCC)の件数を表示します。 9. サイズ メールのサイズを表示します。



コラム

■ メール一覧の表示について

メール一覧の表示件数は、intra-mart Accel GroupMail 設定ファイル(conf/iag-system-config.xml) の設定に従います。

ページャ部の表示件数切り替え用セレクトボックスの表示はありません。

**コラム**

送信日の書式、メール一覧の日時の書式とタイムゾーンは intra-mart Accel Platform の設定に従います。

**コラム**

■メールの宛先表示時のソート順について

メールの宛先表示時のソート順は、システム設定ファイルの設定に従います。

システム設定ファイルについては「[設定ファイルリファレンス](#)」－「[システム設定ファイル](#)」を参照してください。

メール宛先表示時のソート順

●USER_SPECIFIED ※省略時のデフォルト

メール送信者が宛先に指定した順番で表示します。

●DISPLAY_NAME

ユーザ、会社・組織、パブリックグループ、プライベートグループの順かつ名称の昇順で表示します。

**コラム**

■メール一覧のサイズについて

サイズはメールのタイトル＋本文＋添付ファイルの合計サイズです。

単位は B/KB/MB/GB とし、合計サイズの小数点第2位以下四捨五入で表示します。

書式は“#,##0.0”となります。

3. 操作項目

項目	説明
----	----

項目	説明												
検索条件	1. 差出人検索 差出人を設定する IM-共通マスタ 検索画面を表示します。 IM-共通マスタ 検索画面で決定したユーザを差出人に設定します。 表示する IM-共通マスタ 検索画面の設定は以下の通りになります。 <table> <tr> <td>ユーザ選択</td><td>単一選択</td></tr> <tr> <td>基本情報</td><td>編集可能</td></tr> <tr> <td>検索画面タブ</td><td> ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ </td></tr> </table> 2. 差出人クリア 差出人に設定したユーザを削除します。 3. 受取人検索 受取人を設定する IM-共通マスタ 検索画面を表示します。 IM-共通マスタ 検索画面で決定したユーザを受取人に設定します。 表示する IM-共通マスタ 検索画面の設定は以下の通りになります。 <table> <tr> <td>ユーザ選択</td><td>単一選択</td></tr> <tr> <td>基本情報</td><td>編集可能</td></tr> <tr> <td>検索画面タブ</td><td> ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ </td></tr> </table> 4. 受取人クリア 受取人に設定したユーザを削除します。 5. 送信日(開始日) フォーカス取得時、期間(開始日)を設定するカレンダーを表示します。 フォーカス喪失時は期間(開始日)を設定するカレンダーを閉じます。 5.1. 送信日(開始日カレンダー) 送信日(開始日)を設定するカレンダーを表示します。 カレンダーで選択した日付は、送信日(開始日)に設定されます。	ユーザ選択	単一選択	基本情報	編集可能	検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ	ユーザ選択	単一選択	基本情報	編集可能	検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ
ユーザ選択	単一選択												
基本情報	編集可能												
検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ												
ユーザ選択	単一選択												
基本情報	編集可能												
検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ												

項目



画面表示時は送信日(開始日)の設定値を初期選択します。

但し、送信日(開始日)が空欄または日付以外の場合は、現在日が選択されます。

6. 送信日(終了日)

フォーカス取得時、送信日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

フォーカス喪失時は送信日(終了日)を設定するカレンダーを閉じます。

6.1. 送信日(終了日カレンダー)

送信日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

カレンダーで選択した日付は、送信日(終了日)に設定されます。



検索

入力した検索条件でメール検索を行い、検索結果をメール一覧に表示します。

検索結果が0件の場合は、ページャ部に「表示するレコードがありません。」を表示します。

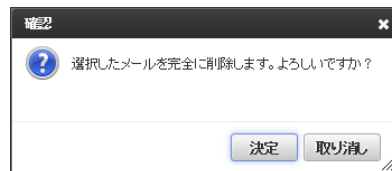
メール削除

画面表示時は送信日(終了日)の設定値を初期選択します。

検索結果一覧で選択したメールを完全に削除します。

但し、送信日(終了日)が空欄または日付以外の場合は、現在日が選択されます。

処理実行前にメッセージダイアログを表示して、処理継続の確認を行います。



(1)メッセージダイアログで「決定」を実行します。

(2)選択したメールを完全に削除します。

(3)検索結果一覧を再表示します。

全ての処理が完了すると、成功メッセージボックスを表示します。



メッセージダイアログで「取り消し」を実行した場合は処理を中止します。

メール一覧

1. 件名

選択したメールのメール詳細画面(管理用)を表示します。

メール詳細画面(管理用)については「[メール詳細画面\(管理用\)](#)」を参照してください。

2. 差出人

選択した差出人の現時点でのユーザ情報詳細ダイアログを表示します。

ユーザ情報詳細ダイアログについては「[ユーザ操作ガイド](#)」－「[4.11. ユーザ情報詳細ダイアログ](#)」

を参照してください。

i コラム

■ IM-共通マスタ検索の検索仕様について

差出人検索、受取人検索を実行する際に表示される IM-共通マスタ 検索の検索仕様については「[IM-共通マスタ 情報の検索仕様](#)」を参照してください。

i コラム

■ 検索について

検索は検索条件のAND条件で実施します。

■ 検索条件別の検索範囲の特記事項

● キーワード

キーワードの件名、本文、添付ファイル名はOR条件になります。

● 差出人

特になし

● 受取人

宛先(TO/CC/BCC)のユーザが検索範囲になります。

グループ宛の場合は、送信日時または保存日時時点での所属ユーザとなります。

● 送信日

開始日と終了日の入力値による検索範囲は以下となります。

・ 開始日有かつ終了日無	開始日 ≤ 送信日、保存日
・ 開始日無かつ終了日有	送信日、保存日 ≤ 終了日
・ 開始日有かつ終了日有	開始日 ≤ 送信日、保存日 ≤ 終了日
・ 開始日無かつ終了日無	全てのメール

● サイズ

検索するメールのサイズは、メールのタイトル+本文+添付ファイルの合計サイズとなります。

サイズの入力値による検索範囲は以下となります。

● 設定しない	全てのメール
● 次のサイズ以上	サイズ ≤ 合計サイズ
● 次のサイズ以下	サイズ ≥ 合計サイズ

! 注意

■ 関連チェック

(1) 検索を実行する際、以下の条件の場合は処理が中止されメッセージを表示します。

条件	メッセージ
検索条件-キーワード文字列の入力有の場合かつ 検索条件-検索対象のチェック無の場合	対象となる項目を1つ以上選択してください。
検索条件-送信日の期間(開始日) > 期間(終了日)の場合	終了日は開始日以降の日付を入力してください。

(2) メール削除を実行する際、以下の条件の場合は処理が中止されメッセージを表示します。

条件	メッセージ
メール一覧-チェックボックスのチェックが無い場合	メールを選択してください。

メール詳細画面(管理用)

メールの内容を表示します。

メール詳細画面(管理用)から、以下の操作を行うことができます。

- メール削除
- 添付ファイルのダウンロード
- 添付ファイルの削除

1. レイアウト

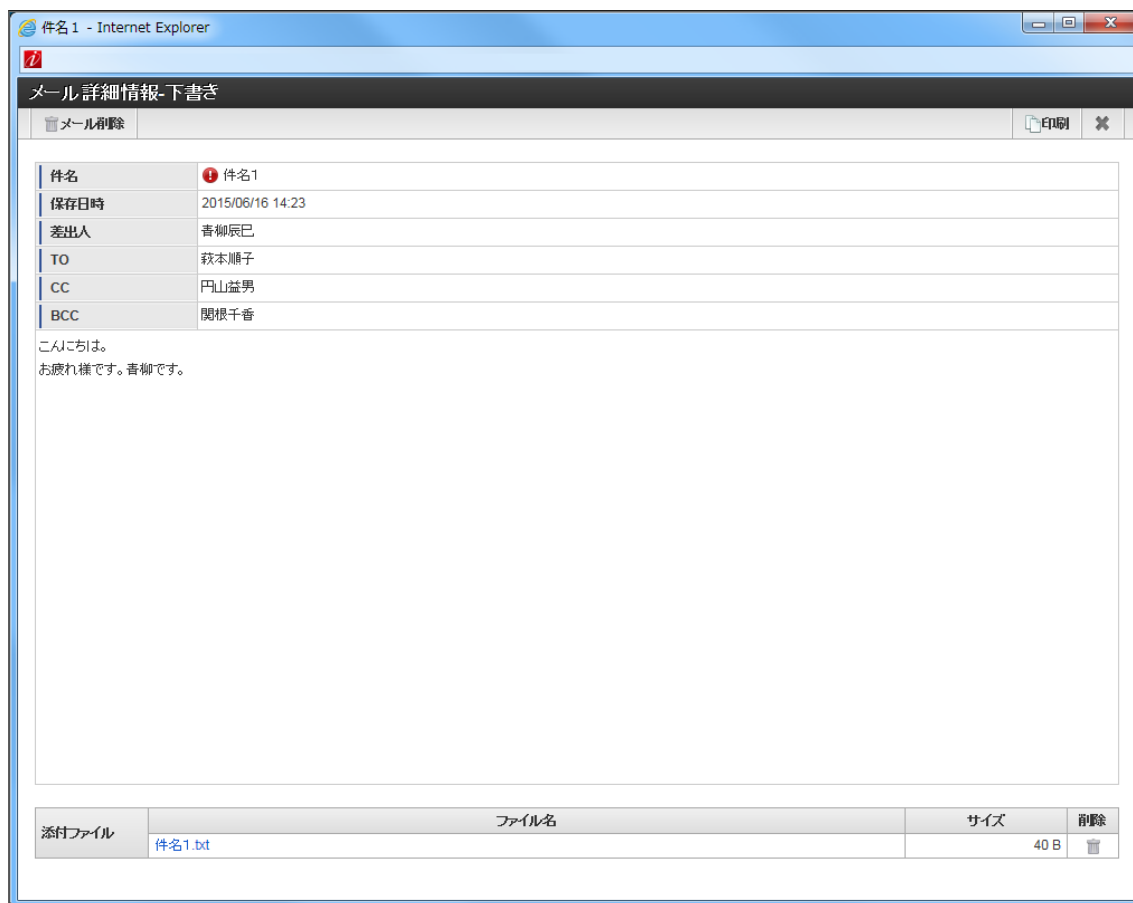
■ メール詳細画面(送信済みメール)

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理のメールメンテナンス」→「検索」→「メール一覧から送信済みメールを選択」の順にクリックし、画面を表示します。

メール詳細情報		印刷	✕
メール削除			
件名	件名1		
送信日時	2015/06/16 13:42		
差出人	青柳辰巳		
TO	荻本順子		
CC	円山益男		
BCC	関根千香		
こんにちは。 お疲れ様です。青柳です。			
添付ファイル	ファイル名	サイズ	削除
	件名1.txt	40 B	

■ メール詳細画面(下書きメール)

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理のメールメンテナンス」→「検索」→「メール一覧から下書きメールを選択」の順にクリックし、画面を表示します。



■ メール詳細ダイアログ(送信済みメール)



■ メール詳細ダイアログ(下書きメール)

メール詳細情報 - 下書き

メール削除

件名	件名2
保存日時	2015/07/28 15:00
差出人	青柳辰巳
TO	関根千香
CC	秋本順子
BCC	円山益男, 林義義

件名2

添付ファイル	ファイル名	サイズ	削除
	ファイル1.txt	142 B	

注意

■ 初期表示チェック

メール詳細画面(管理用)表示時に、初期表示チェックが実行されます。
以下の条件の場合はエラーボックスを表示します。

条件	メッセージ
メールが存在しない場合	メール情報が存在しません。

2. 表示・入力項目

項目	説明
件名	メールの件名を表示します。 件名が未設定の場合は"<件名なし>"を表示します。 重要にチェックがある場合は、件名の左側に表示されます。
送信日時	送信済みメールの場合に、メールを送信した日時を表示します。
保存日時	下書きメールの場合に、メールを送信した日時を表示します。
差出人	送信済みメールの場合、メールの送信者を表示します。 下書きメールの場合、メールの保存者を表示します。
TO	メールの宛先(TO)を表示します。 宛先(TO)の設定が無い場合は非表示となります。
CC	メールの宛先(CC)を表示します。 宛先(CC)の設定が無い場合は非表示となります。
BCC	メールの宛先(BCC)を表示します。 宛先(BCC)の設定が無い場合は非表示となります。

項目	説明
本文	メールの本文を表示します。 本文中のURLはリンク表示となります。
添付ファイル	添付ファイルをファイル名の昇順で一覧表示します。 1. ファイル名 添付ファイルの名前をリンク表示します。 添付ファイルの有効期限が切れている場合は、リンク表示ではなく取り消し線を表示します。 2. サイズ 添付ファイルのサイズを表示します。

コラム

送信日時、保存日時の書式とタイムゾーンは intra-mart Accel Platform の設定に従います。

コラム

■ 宛先について(TO、CC、BCC共通)

宛先がユーザ宛ではなく、グループ宛の場合は、送信日時または保存日時時点での配下のユーザを表示します。

宛先が複数の場合は、システム設定ファイルの設定に従って並び替えられ、カンマ区切りで表示されます。システム設定ファイルについては「[設定ファイルリファレンス](#)」－「[システム設定ファイル](#)」を参照してください。

メール宛先表示時のソート順

●USER_SPECIFIED ※省略時のデフォルト

メール送信者が宛先に指定した順番で表示します。

●DISPLAY_NAME

ユーザ、会社・組織、パブリックグループ、プライベートグループの順かつ名称の昇順で表示します。

コラム

■ プレーンテキスト形式のURLについて

本文でプレーンテキスト形式にURLはリンク変換されます。

URLの対象は以下となります。

- “http:”で始まる
- “https:”で始まる
- “file:”で始まる

但し、URLのリンク変換は半角スペース、全角文字、改行までとなります。

コラム

■ 添付ファイルのサイズについて

添付ファイルのサイズの単位はB/KB/MB/GBです。

添付ファイルのサイズの最大単位を小数点第2位以下四捨五入で表示します。

書式は“#,##0.0”となります。

3. 操作項目

項目	説明
----	----

項目	説明
メール削除	メールを削除します。 処理実行前にメッセージダイアログを表示して、処理継続の確認を行います。  (1)メッセージダイアログで「決定」を実行します。 (2)選択したメールを削除します。 (3)メール詳細画面(管理用)を閉じます。 (4)メールメンテナンス画面の検索結果一覧を再表示します。 全ての処理が完了すると、成功メッセージボックスを表示します。  メッセージダイアログで「取り消し」を実行した場合は処理を中止します。
	メール詳細画面(管理用)を閉じます。
本文のURL	以下の内容を実行します。 ● ショートカットURL ショートカットURLのサイトに遷移します。 ● ショートカットURL以外 URLのサイトを別画面で表示します。
添付ファイル	1. ファイル名 添付ファイルをダウンロードします。 2. 削除 添付ファイルを削除します。 処理実行前にメッセージダイアログを表示して、処理継続の確認を行います。  (1)メッセージダイアログで「決定」を実行します。 (2)添付ファイルを削除します。 (3)メール詳細画面(管理用)の添付ファイル一覧を再表示します。 全ての処理が完了すると、成功メッセージボックスを表示します。  メッセージダイアログで「取り消し」を実行した場合は処理を中止します。

**注意****■ 関連チェック**

添付ファイルをダウンロード、削除する際、以下の条件の場合は処理が中止されメッセージを表示します。

条件	メッセージ
添付ファイルが存在しない場合 または添付ファイルの有効期限が切れている場合	添付ファイルが存在しません。

ユーザ環境設定一覧画面

全ユーザのシステム環境設定状況を表示します。

表示する内容は、以下になります。

- 最大使用データ量
- データ使用量
- データ使用率
- メールの有効保存期間

**コラム****■ 表示対象ユーザの制限について**

実行するメニューで表示対象のユーザが制限されます。

- ユーザ環境設定
全ユーザを表示します。
- ユーザ環境設定(会社管理)
ログインユーザに参照権限のある会社に所属するユーザを表示します。

1. レイアウト

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理のユーザ環境設定」の順にクリックし、画面を表示します。

ユーザ環境設定 - GroupMail

検索条件

対象ユーザ

ユーザを選択してください

検索

対象グループ

グループを選択してください

検索

データ使用率

% 以上

検索

ユーザ名	最大使用データ量	データ使用量	データ使用率	メール保存期間
喜柳辰巳	20MB	0.0MB	0%	2か月
萩本順子	20MB	0.0MB	0%	2か月
原田浩二	20MB	0.0MB	0%	2か月
林政義	20MB	0.0MB	0%	2か月
生田一哉	20MB	0.0MB	0%	2か月
片山聡	20MB	0.0MB	0%	2か月
円山益男	20MB	0.0MB	0%	2か月
大磯博文	20MB	0.0MB	0%	2か月
関根千香	20MB	0.0MB	0%	2か月
上田辰男	20MB	0.0MB	0%	2か月

2 ページ中 1 ページ目

11 件中 1 - 10 を表示

(1) 対象ユーザクリア (2) 対象グループクリア

2. 表示・入力項目

24

項目

説明

検索条件

開閉可能なコンテンツ領域(アコーディオン)で表示します。
画面表示時は開いた状態での表示となります。

1. 対象ユーザ

検索するユーザを入力します。
IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。
画面表示時は空欄となります。

2. 対象グループ

検索するグループ(会社・組織/パブリックグループ)を入力します。
IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。
画面表示時は空欄となります。

3. データ使用率

検索するデータ使用率の下限を入力します。
画面表示時は空欄となります。

ユーザー一覧

検索した結果を一覧表示します。画面表示時はユーザー一覧は表示されません。
検索直後はユーザ名の昇順で一覧表示しますが、以下の項目で並び替えを行うことができます。

● ユーザ名

● 最大使用データ量

● データ使用量

● データ使用率

● メール保存期間

1. ユーザ名

ユーザ名を表示します。

2. 最大使用データ量

最大使用データ量を表示します。

3. データ使用量

ユーザの使用データ量を表示します。
データ量は受信メール、送信済みメール、下書きメールのメールタイトル+メール本文+添付ファイルの合計サイズになります。

4. データ使用率

データ使用量/最大使用データ量の結果をパーセント表示します。
パーセントの小数点以下は四捨五入となります。
データ使用率は以下を表示します。

0.0MB/10MB

3.2MB/10MB

7.8MB/10MB

未使用(0%)

正常(1%~70%)

警告(71%~90%)

9.3MB/10MB

10.1MB/10MB

危険(91%~99%)

超過(100%以上)

5. メール保存期間

メールの保存期間を表示します。
メールの保存期間が0の場合は、“無制限”を表示します。

**コラム****■ ユーザー一覧の表示について**

ユーザー一覧の表示件数は、intra-mart Accel GroupMail 設定ファイル(conf/iag-system-config.xml) の設定に従います。

ページャ部の表示件数切り替え用セレクトボックスの表示はありません。

**コラム****■ データ量について**

データ量のサイズの単位はMBで、小数点第2位以下四捨五入で表示します。

書式は“#,##0.0”となります。

**コラム****■ メール送受信とデータ使用量について**

メールを送信する際、送信者側では送信済みメールに保存されますので、この時点で送信したメール分のデータ使用量が計上されます。

受信者側のデータ使用量にはこの時点では計上されません。受信者側に計上されるのは受信者の方で受信処理を行った時点になります。

メールを送信する時点で宛先に指定した受信者が最大データ使用量を超過していたとしても、送信者のデータ使用量が超過していなければメール送信は可能です。

受信者側では受信操作をするタイミングでデータ使用量が超過している場合、受信処理をしようとしてもエラーとなり受信できません。

その場合、受信者は既存のメールを削除してデータ使用量を減らすことで、受信できていないメールの残りを受信できるようになります。

3. 操作項目

項目	説明
----	----

項目	説明												
検索条件	1. 対象ユーザ検索 対象ユーザを設定する IM-共通マスタ 検索画面を表示します。 IM-共通マスタ 検索画面で決定したユーザを対象ユーザに設定します。 表示する IM-共通マスタ 検索画面の設定は以下の通りになります。 <table> <tr> <td>ユーザ選択</td><td>単一選択</td></tr> <tr> <td>基本情報</td><td>編集可能</td></tr> <tr> <td>検索画面タブ</td><td> ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ </td></tr> </table> 2. 対象ユーザクリア 対象ユーザに設定したユーザを削除します。 3. 対象グループ検索 対象グループを設定する IM-共通マスタ 検索画面を表示します。 IM-共通マスタ 検索画面で決定した会社・組織、パブリックグループを対象ユーザに設定します。 表示する IM-共通マスタ 検索画面の設定は以下の通りになります。 <table> <tr> <td>ユーザ選択</td><td>単一選択</td></tr> <tr> <td>基本情報</td><td>編集可能</td></tr> <tr> <td>検索画面タブ</td><td> 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) </td></tr> </table> 4. 対象グループクリア 対象グループに設定した会社・組織、パブリックグループを削除します。	ユーザ選択	単一選択	基本情報	編集可能	検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ	ユーザ選択	単一選択	基本情報	編集可能	検索画面タブ	会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー)
ユーザ選択	単一選択												
基本情報	編集可能												
検索画面タブ	ユーザ(キーワード) 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー) プライベートグループ												
ユーザ選択	単一選択												
基本情報	編集可能												
検索画面タブ	会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー) パブリックグループ (キーワード) パブリックグループ (ツリー)												
検索	入力した検索条件でユーザ検索を行い、検索結果をユーザー一覧に表示します。 検索結果が0件の場合は、ページャ部に「表示するレコードがありません。」を表示します。												

項目	説明
ユーザー一覧	1. 編集 選択したユーザのユーザ環境設定ダイアログを表示します。 ユーザ環境設定ダイアログについては「ユーザ環境設定ダイアログ」を参照してください。 2. ユーザ名 選択したユーザの現時点でのユーザ情報詳細ダイアログを表示します。 ユーザ情報詳細ダイアログについては「ユーザ操作ガイド」－「4.11. ユーザ情報詳細ダイアログ」を参照してください。



コラム

■ IM-共通マスタ検索の検索仕様について

対象ユーザ検索、対象グループ検索を実行する際に表示される IM-共通マスタ 検索の検索仕様については「[IM-共通マスタ 情報の検索仕様](#)」を参照してください。



コラム

■ 検索について

検索は検索条件のAND条件で実施します。

■ 検索条件別の検索範囲の特記事項

- 対象ユーザ
特になし
- 対象グループ
検索実行時点で設定したグループに所属しているユーザを検索します。
- データ使用率
設定した検索条件のデータ使用率 ≤ データ使用率で検索します。

ユーザ環境設定ダイアログ

ユーザのシステム環境を設定します。

設定する環境は以下になります。

- 最大使用データ量
- メール保存期間

1. レイアウト

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理のユーザ環境設定」→「検索」→「ユーザー一覧のユーザ名左横のアイコン」の順にクリックし、画面を表示します。

**注意****■ 初期表示チェック**

ユーザ環境設定ダイアログ表示時に、初期表示チェックが実行されます。
以下の条件の場合はエラーボックスを表示します。

条件	メッセージ
ユーザが存在しない場合	ユーザが存在しません。
ユーザが無効の場合	ユーザが無効です。
ユーザの会社参照権限が無い場合	ユーザの参照権限がありません。

2. 表示・入力項目

項目	説明
ユーザ名	ユーザ名を表示します。
最大使用データ量	ユーザの最大使用データ量を入力します。必須入力となります。 画面表示時は現時点での最大使用データ量を表示します。
メール保存期間	ユーザのメール保存期間を入力します。 画面表示時は現時点でのメール保存期間を表示します。必須入力となります。 システム上限値が0の場合、0(無制限)の入力を可能とします。

**コラム**

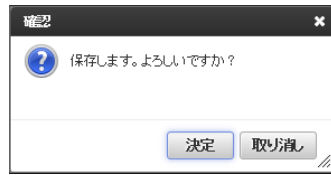
最大使用データ量、メール保存期間でユーザシステム設定情報が存在しない場合のデフォルト設定値は、システム設定ファイルの設定に従います。
システム設定ファイルについては「[設定ファイルリファレンス](#)」－「[システム設定ファイル](#)」を参照してください。

3. 操作項目

項目	説明
	ユーザ環境設定ダイアログを閉じます。
デフォルト値	システムデフォルト値を設定します。 対象項目は以下になります。 ● 最大使用データ量 ● メール保存期間

項目	説明
保存	ユーザのシステム環境を保存します。

処理実行前にメッセージダイアログを表示して、処理継続の確認を行います。



- (1)メッセージダイアログで「決定」を実行します。
- (2)ユーザのシステム環境を更新します。
- (3)ユーザ環境設定ダイアログを閉じます。
- (4)ユーザ環境設定一覧画面のユーザー一覧を再表示します。

全ての処理が完了すると、成功メッセージボックスを表示します。



メッセージダイアログで「取り消し」を実行した場合は処理を中止します。

EMLエクスポート タスク管理画面

ユーザが指定した条件に基づいて出力されたEMLエクスポートファイルを管理することができます

EMLエクスポートジョブネットを実行することで、
依頼に基づいて変換が実行されます

1. レイアウト

「サイトマップ」→「GroupMail」→「管理」→「EMLエクスポート タスク管理」の順にクリックし、画面を表示します。

EML エクスポート タスク管理 - GroupMail

▼ 検索条件

ユーザ

ユーザを選択してください

検索

実行依頼日

から

まで

ファイル作成日

から

まで

実行時間 (分)

設定しない

分

ファイルサイズ

設定しない

MB

ステータス

--

検索

選択したものを削除

詳細	ユーザ	実行依頼日	ステータス	実行時間 (分)	ファイル作成日	ファイルサイズ
☐	青柳辰巳	2020/03/10 14:11	実行完了 (成功)	0	2020/03/10 14:11	851 B
☐	林政義	2020/03/10 14:10	実行完了 (成功)	0	2020/03/10 14:10	842 B
☐	上田辰男	2020/03/10 14:07	実行完了 (成功)	0	2020/03/10 14:07	823 B
☐	上田辰男	2020/03/10 13:23	実行完了 (成功)	0.883	2020/03/10 13:24	10.7 MB
☐	青柳辰巳	2020/03/06 17:19	実行完了 (成功)	0	2020/03/06 17:21	787 B
☐	上田辰男	2020/03/06 15:50	実行完了 (成功)	0.883	2020/03/06 15:51	10.7 MB

1 ページ中 1 ページ目

6 件中 1 - 6 を表示

検索条件

1. 表示・入力項目

検索条件

項目	説明
ユーザ	検索対象となる依頼を作成したユーザを指定します。 画面表示時は、空欄となります。 ユーザ検索画面を起動するボタンを表示します 
依頼作成日	検索対象となる依頼の依頼作成日を期間で入力します。 画面表示時は空欄となります。
実行終了日	検索対象となる依頼の実行終了日を期間で入力します。 画面表示時は空欄となります。
実行時間(分)	検索対象となる依頼の実行時間(分)の条件を入力します

検索条件(実行時間)

検索条件	説明
“設定しない”	実行時間を指定せず検索します
“次の時間以上”	設定した実行時間(分)以上の依頼を検索します
“次の時間以内”	設定した実行時間(分)以内の依頼を検索します

ファイル容量 検索対象となる依頼の出力したファイルサイズ(MB)の条件を入力します

検索条件(ファイル容量)

検索条件	説明
“設定しない”	ファイル容量を設定せず検索します
“次のサイズ以上”	設定したファイル容量(MB)以上の依頼を検索します
“次のサイズ以内”	設定したファイル容量(MB)以内の依頼を検索します

ステータス 検索対象となる依頼のステータスを入力します

検索できるステータスは以下の通りです

- 実行待ち
- 実行中
- 実行完了(成功)
- 実行失敗(失敗)

2. 操作項目

検索条件

項目	説明
----	----

項目	説明
ユーザ	検索対象となる依頼をユーザを指定します。 IM-共通マスタ 検索画面からのみ入力でき、入力欄には直接入力できません。 画面表示時は空欄となります。
ユーザクリア	ユーザの入力を空欄にします。

依頼作成日

1. 依頼作成日(開始日)

フォーカス取得時、依頼作成日(開始日)を設定するカレンダーを表示します。

フォーカス喪失時は依頼作成日(開始日)を設定するカレンダーを閉じます。

1.1. 開始日カレンダー

依頼作成日(開始日)を設定するカレンダーを表示します。

カレンダーで選択した日付は、依頼作成日(開始日)に設定されます。



画面表示時は空欄となります。

2. 依頼作成日(終了日)

フォーカス取得時、依頼作成日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

フォーカス喪失時は依頼作成日(終了日)を設定するカレンダーを閉じます。

2.1. 終了日カレンダー

依頼作成日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

カレンダーで選択した日付は、依頼作成日(終了日)に設定されます。



画面表示時は空欄となります。

項目

説明

実行終了日

1. 実行終了日(開始日)

フォーカス取得時、実行終了日(開始日)を設定するカレンダーを表示します。

フォーカス喪失時は実行終了日(開始日)を設定するカレンダーを閉じます。

1.1. 開始日カレンダー

実行終了日(開始日)を設定するカレンダーを表示します。

カレンダーで選択した日付は、実行終了日(開始日)に設定されます。



画面表示時は空欄となります。

2. 実行終了日(終了日)

フォーカス取得時、実行終了日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

フォーカス喪失時は実行終了日(終了日)を設定するカレンダーを閉じます。

2.1. 終了日カレンダー

実行終了日(終了日)を設定するカレンダーを表示します。

カレンダーで選択した日付は、実行終了日(終了日)に設定されます。



画面表示時は空欄となります。

実行時間(分)

検索対象となる依頼の実行時間(分)の条件を入力します

検索条件(実行時間)

検索条件	説明
“設定しない”	実行時間を設定せず検索します
“次の時間以上”	設定した実行時間(分)以上の依頼を検索します
“次の時間以内”	設定した実行時間(分)以内の依頼を検索します

項目	説明
ファイル容量	検索対象となる依頼の出力したファイルサイズ(MB)の条件を入力します
検索条件(ファイル容量)	
検索条件	説明
“設定しない”	ファイル容量を設定せず検索します
“次のサイズ以上”	設定したファイル容量(MB)以上の依頼を検索します
“次のサイズ以内”	設定したファイル容量(MB)以内の依頼を検索します
ステータス	検索対象となる依頼のステータスを入力します 画面表示時は設定は空欄となります。 検索できるステータスは以下の通りです ● 実行待ち ● 実行中 ● 実行完了(成功) ● 実行失敗(失敗)
検索	設定された検索条件に基づいて、検索を実行します



コラム

- 依頼一覧の検索処理について
検索はAND条件で実施します。



注意

- 関連チェック
依頼一覧の検索を実行する際、以下の条件の場合はエラーメッセージを表示します。

条件	メッセージ
実行依頼日またはファイル作成日において 検索期間期間(開始日) > 出力期間(終了日)の場合	終了日は開始日以降の日付を入力してください。

依頼一覧

1. 表示・入力項目

依頼一覧	
項目	説明
選択したものを削除	“選択したものを削除”ボタンを表示します
	
チェックボックス	チェックボックスを表示します
詳細	詳細表示ボタンを表示します
	
ユーザ名	依頼したユーザ名を表示します

項目	説明
依頼作成日	出力条件に指定した、依頼作成日を表示します
状態	出力条件に指定した、状態を表示します
実行時間(分)	出力条件に指定した、実行時間(分)を表示します
ファイル作成日時	タスクによる、ファイル作成日時を表示します
ダウンロード	ダウンロードが可能な場合、 ダウンロードボタンを表示します



2. 操作項目

依頼履歴一覧

項目	説明
チェックボックス	チェックした依頼を選択状態にすることができます
詳細	詳細表示を行います
	
ダウンロード	ダウンロードが可能な場合、 ダウンロードボタンを表示します
	
選択したものを削除	依頼履歴から選択した依頼を削除することができます
	

依頼の詳細 ダイアログ

依頼一覧から依頼詳細表示ボタンを実行することで、表示されます

1. レイアウト

依頼の詳細

×

依頼の内容

依頼日時

2020/03/10 14:11

出力対象期間

2020/03/10 から

フォルダ内の階層

階層を再現しない

出力対象フォルダ

送信済み

依頼の処理状況（結果）

ステータス

実行完了（成功）

実行時間

0 分

処理開始日時

2020/03/10 14:11

処理終了日時

2020/03/10 14:11

ファイルサイズ

851 B

メッセージ

EMLエクスポートファイルを作成しました（処理対象のメール 1件）

ジョブネットモニタ詳細

[intra-martAPP](#)

2. 表示項目

依頼の内容

項目	説明
依頼日時	依頼が作成された日時を表示します
出力対象期間	指定された出力対象期間を表示します
フォルダ内の階層	出力条件に指定されたフォルダ階層化の設定を表示します
出力対象フォルダ	出力対象に指定されたフォルダ名を全て表示します

依頼の内容

項目	説明
ステータス	依頼の現在の処理状況を表示します
実行時間	依頼の処理にかかった時間を分単位で表示します
処理開始日時	依頼の処理を開始した日時を表示します
処理終了日時	依頼の処理を終了した日時を表示します
ファイルサイズ	出力されたファイルのファイルサイズを表示します
メッセージ	EMLエクスポート実行結果のメッセージを表示します
ジョブネットモニタ詳細	EMLエクスポートが実行された際の、 ジョブネットモニタ詳細へのリンクを表示します

3. 操作項目

依頼の内容

項目	説明
ジョブネットモニタ詳細	EMLエクスポートが実行された際の、 ジョブネットモニタ詳細へのページへ遷移します

エクスポートファイル

EMLエクスポートによって出力されるファイルについて説明します

1. EMLエクスポートファイル

エクスポートを実行し、ダウンロードできるファイルのファイル名、書式・構造などは以下の通りです。



コラム

出力されるファイルの保存先について
ファイルの出力先は以下の通りです。

%パブリックストレージ%/テナント名%/groupmail/rfts/archives/%依頼ユーザコード%/依頼コード%.zip

EMLエクスポートファイル

項目	説明
拡張子	zip 形式
ファイル名	eml_%依頼ユーザコード%_yyyyMMddhhmm.zip ● yyyyMMddhhmm は依頼日時となります

項目	説明
フォルダ構造 再現する場合	指定対象フォルダの階層を再現する場合、 対象フォルダ以下の全てのフォルダ構造を再現します。 出力対象フォルダ - 変換結果テキストファイル(log.txt) - 出力対象フォルダ内のメール(eml形式) - 出力対象フォルダ以下のフォルダ - 出力対象フォルダ以下のフォルダ内のメール(eml形式)
フォルダ構造 再現しない場合	指定対象フォルダの階層を再現しない場合、 対象フォルダ以下の全てのフォルダのメールは、対象フォルダと同じ階層に出力されます 出力対象フォルダ - 変換結果テキストファイル(log.txt) - 出力対象フォルダ内のメール(eml形式) - 出力対象フォルダ以下のフォルダ内のメール(eml形式)

2. EMLエクスポートしたメール 出力項目

項目	説明
拡張子	eml 形式
ファイル名	yyyyMMdd_メール件名_メールID_メールサブID.eml ● yyyyMMdd は送信日となります
件名	メールの件名を出力します。
差出人	メールの差出人を出力します。
日時	メールの送信日時を出力します。
TO	メール宛先(TO)を出力します。 宛先(TO)が未設定の場合は出力されません。
CC	メール宛先(CC)を出力します。 宛先(CC)が未設定の場合は出力されません。
BCC	メール宛先(BCC)を出力します。 メール作成者が出力する場合は、全ての宛先(BCC)が表示され、 BCCの受信者が出力する場合は、受信者の名前のみ表示します。
添付ファイル	メール添付ファイルを出力します。 対応形式は、後述する 対応するファイル拡張子形式 を参照してください
本文	メールの本文を出力します。
メール形式	それぞれ対応するメール形式に出力されます

コラム

◆フォルダ階層、メールファイル名(件名)の省略について

出力されたEMLファイルのパス名が長すぎる場合、
フォルダ階層、メールファイル名(件名) が省略されることがあります。

(1) フォルダ階層

フォルダ階層が深いフォルダから順番に省略されていきます。

すべてのフォルダが省略対象となった場合、解凍後のフォルダ直下にEMLファイルが出力されます。

(2) メールファイル名(件名)

フォルダ階層の省略結果によって、件名が省略される場合があります。

件名が省略された場合、ファイル名の件名は末尾から省略されます。

件名全てが省略される場合があります。

対応するファイル拡張子形式

以下の表は、添付ファイルとして出力できることを確認した拡張子の一覧になります。

文書、オフィス

分類	確認した拡張子
文書関係	txt ,xml ,html ,css ,pdf ,csv ,doc, docx ,xls, xlsx ,ppt, pptx, ods
メディアファイル関係	bmp, jpg, jpeg, png, gif, svg, ico, mp3, mp4, mpg, avi, wmv, aiff, mov, aac
その他	zip, tar, rpm, 7z, iso, lzh, cab, exe, js, jar, bat, sh, vbs, lnk, eml

ジョブネット操作編

ここでは、intra-mart Accel GroupMail で提供するジョブネットについて説明します。

期限切れメール削除ジョブネット

保存期間(月数)を超過したメールを削除します。

実行するジョブは以下になります。

- 期限切れメール削除ジョブ：保存期間(月数)を超過したメールを削除状態にします。
- メール削除ジョブ：送信(保存)者、宛先が全て削除状態のメールを削除します。
- ユーザ使用量更新ジョブ：最新の状態でユーザ使用量を更新します。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
comit-count	数値	コミットを行う件数 0の場合は最後に1度だけコミットします。 データベースにOracleをご利用の場合は900以下、 SQL Server をご利用の場合は 2000以下を必ず指定してください。	0



注意

上記の通り、このジョブはご利用のDBにより commit-count の指定が必須になります。指定していない場合、大量の処理対象メールが発生していると、エラー終了する場合があります。



注意

このジョブは複数のテーブルの複数のレコードを更新する必要があるため、commit-count が大きい場合ジョブと画面操作と同時に実行された場合にデータベースのデッドロックを引き起こす可能性があります。
(一方のトランザクションがエラーとなりロールバックされます)
ジョブと画面操作が並行して実行されることが想定される場合は commit-countを1に設定して運用してください。

期限切れ添付ファイル削除ジョブネット

保存期間(月数)を超過した添付ファイルを削除します。

実行するジョブは以下になります。

- 期限切れ添付ファイル削除ジョブ：保存期間(月数)を超過した添付ファイルを削除します。
- データサイズ更新ジョブ：最新の状態でデータサイズ(メール情報のデータ量合計)を更新します。
- ユーザ使用量更新ジョブ：最新の状態でユーザ使用量を更新します。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
commit-count	数値	ジョブのコミットを行う件数 0の場合は最後にコミットします。	0
check_absence	真偽値	添付ファイルの存在検証実行有無 true：添付ファイルの存在検証を実行する false：添付ファイルの存在検証を実行しない	true

**注意**

このジョブは複数のテーブルの複数のレコードを更新する必要があるため、commit-count が大きい場合ジョブと画面操作と同時に実行された場合にデータベースのデッドロックを引き起こす可能性があります。
(一方のトランザクションがエラーとなりロールバックされます)
ジョブと画面操作が並行して実行されることが想定される場合は commit-countを1に設定して運用してください。

利用者環境設定情報インポートジョブネット

利用者環境設定情報のインポートを実行します。

実行するジョブは以下になります。

- 利用者環境設定情報インポートジョブ：利用者環境設定情報のインポートを行います。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
file	文字列	インポートするCSVファイルのパス パブリックストレージからの相対パス	(空文字列)
comit-count	数値	コミットを行う件数 0の場合は最後にコミットします。	0
validate-date	真偽値	インポートするデータの検証有無 true：データ検証する false：データ検証しない	true
delimiter-code	文字列	CSVファイルの項目区切り文字	(半角カンマ)

**注意**

このジョブは複数のテーブルの複数のレコードを更新する必要があるため、commit-count が大きい場合ジョブと画面操作と同時に実行された場合にデータベースのデッドロックを引き起こす可能性があります。
(一方のトランザクションがエラーとなりロールバックされます)
ジョブと画面操作が並行して実行されることが想定される場合は commit-countを1に設定して運用してください。

利用者環境設定情報置換インポートジョブネット

利用者環境設定情報の置換インポートを実行します。

実行するジョブは以下になります。

- 利用者環境設定情報一括削除ジョブ：利用者環境設定情報の一括削除を行います。
- 利用者環境設定情報インポートジョブ：利用者環境設定情報のインポートを行います。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
file	文字列	インポートするCSVファイルのパス パブリックストレージからの相対パス	(空文字列)
comit-count	数値	コミットを行う件数 0の場合は最後にコミットします。	0
validate-date	真偽値	インポートするデータの検証有無 true：データ検証する false：データ検証しない	true
delimiter-code	文字列	CSVファイルの項目区切り文字	(半角カンマ)

**注意**

このジョブは複数のテーブルの複数のレコードを更新する必要があるため、commit-count が大きい場合ジョブと画面操作と同時に実行された場合にデータベースのデッドロックを引き起こす可能性があります。
(一方のトランザクションがエラーとなりロールバックされます)
ジョブと画面操作が並行して実行されることが想定される場合は commit-countを1に設定して運用してください。

利用者環境設定情報エクスポートジョブネット

利用者環境設定情報のエクスポートを実行します。

実行するジョブは以下になります。

- 利用者環境設定情報エクスポートジョブ：利用者環境設定情報のエクスポートを行います。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
file	文字列	エクスポートするCSVファイルのパス パブリックストレージからの相対パス	(空文字列)
fetch-count	数値	データベースからデータを読み込む件数	5000
delimiter-code	文字列	CSVファイルの項目区切り文字	(半角カンマ)
newline-code	文字列	CSVファイルの改行文字列	\r\n(CRLF)

添付ファイル保存位置是正ジョブネット

Accel Groupmail ver 8.0.0, 8.0.1, 8.0.2 で発生する添付ファイルの保存先に関する不具合によって発生してしまった保存先の不正な添付ファイルの位置を是正するジョブネットです。

特に問題が発生していない場合、このジョブネットを実行する必要はありません。

このジョブを実行すると、ストレージサービス上で不正な位置にある添付ファイルを正しい位置に移動、またはデータベース上削除されているもののストレージサービス上に残ったままになっている添付ファイルを削除します。
これらの移動や削除が発生した場合

STORAGE_SERVICE%/groupmail-backup-yyyyMMdd-HHmm

というバックアップフォルダを作り、元のファイルの位置と同等のパスに複製します。

実施後、問題がなければこのバックアップフォルダは手動で削除してください。

**注意**

このジョブネットを実行する前に、ストレージ領域のバックアップを取得しておくことを強く推奨します。

**コラム**

このジョブネットは ver 8.0.1-PATCH_001 以降、ver 8.0.2-PATCH_001 以降 で利用できます。

実行するジョブは以下になります。

- 添付ファイル保存位置是正ジョブ：不正な位置に保存されている添付ファイルを元の想定のある場所に移動します。

■ 実行パラメータ

特にありません

EMLエクスポートタスク実行ジョブネット

Accel Groupmail ver 8.0.9 で追加された、EMLエクスポート機能に関するジョブネットです。

このジョブを実行すると、
ユーザが設定した依頼の出力条件に基づいて、
対象となるメール群をそれぞれEMLファイルに変換し、
Zip ファイルに圧縮するエクスポート処理を順次実行していきます

それぞれの依頼ごとに

アーカイブのZIPファイル

というバックアップフォルダを作り、設定されたストレージへ保存します。

保存されたファイルのダウンロードについては、各EMLエクスポート画面からダウンロードできます。



コラム

エクスポート対象のメールは削除されるわけではありません。



コラム

このジョブネットは ver 8.0.9 以降 で利用できます。

実行するジョブは以下になります。

- EMLエクスポートタスク実行ジョブ：EMLエクスポートをユーザが設定した依頼に基づいて実行します

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
max_tasks_per_trigger	数値	ジョブ一回の実行につき、処理するタスクの上限。未処理のタスクがこの値以上にある場合 ジョブはタスクを順に処理し、この値までタスクを処理したところでジョブを終了します。 パラメータ <code>continuous_threshold_time</code> と同時に指定した場合どちらかの上限に達した時点で処理を終了します。 指定しない場合は制限がかかりません。	未設定
continuous_threshold_time	数値	ジョブ一回の実行につき、連続でタスクを処理する時間の閾値。ジョブは一度実行されると 未処理のタスクを連続して処理しますが、このパラメータで指定した時間（分）を超えた場合、後続のタスクを処理せず終了します。 パラメータ <code>max_tasks_per_trigger</code> と同時に指定した場合どちらかの上限に達した時点で処理を終了します。 指定しない場合は制限がかかりません。	未設定
verbose	真偽値	アーカイブファイル内に出力されるログファイルの内容を指定します。 false：出力に失敗したメールの一覧と概要 true：出力したすべてのメールの一覧と概要	false

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
export.address.user.type	文字列	宛先アドレスが個人に指定されているものについてemlでの出力内容を以下から選択して 指定します。 code ユーザ名<ユーザコード> 形式で出力します。 例：青柳<aoyagi> code_at_static_domain ユーザ名<ユーザコード@固定ドメイン> 形式で出力します。 固定ドメインにはパラメータ <code>export.address.user.static_domain</code> に指定された 値を使用します。 例：青柳<aoyagi@example.com> empty ユーザ名<> 形式で出力します。 static_string ユーザ名<固定文字列> 形式で出力します。 固定文字列にはパラメータ <code>export.address.user.static_string</code> に指定された 値を使用します。 profile_address_1 ユーザ名<メールアドレス> 形式で出力します。 メールアドレスにはIM共通マスタのメールアドレス1を使用します。 profile_address_2 ユーザ名<メールアドレス> 形式で出力します。 メールアドレスにはIM共通マスタのメールアドレス2を使用します。 profile_mobile_address ユーザ名<携帯メールアドレス> 形式で出力します。 IM共通マスタの携帯メールアドレスに設定されている内容を使用します。	code
export.address.user.static_string	文字列	パラメータ <code>export.address.user.type</code> で <code>static_string</code> を指定する場合に合わせて指定します。	未設定
export.address.user.static_domain	文字列	パラメータ <code>export.address.user.type</code> で <code>code_at_static_domain</code> を指定する場合に合わせて指定します。	未設定

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
export.address.dept.type	文字列	宛先アドレスが組織になっているものについてemlでの出力内容を以下から選択して指定します。 code 組織名<組織コード> 形式で出力します。 例：サンプル課11<dept_sample_11> full_code 組織名<会社コード-組織セットコード-組織コード> 形式で出力します。 例：サンプル課11<comp_sample_01-comp_sample_01-dept_sample_11> code_at_static_domain 組織名<組織コード@固定ドメイン> 形式で出力します。 固定ドメインにはパラメータ export.address.dept.static_domain に指定された 値を使用します。 例：サンプル課11<dept_sample_11@example.com> full_code_at_static_domain 組織名<会社コード-組織セットコード-組織コード@固定ドメイン> 形式で出力します。固定ドメインにはパラメータ export.address.dept.static_domain に指定された値を使用します。 例：サンプル課11<comp_sample_01-comp_sample_01-dept_sample_11@example.com> empty 組織名<> 形式で出力します。 static_string 組織名<固定文字列> 形式で出力します。固定文字列にはパラメータ export.address.dept.static_string に指定された値を使用します。 profile_address_1 組織名<メールアドレス> 形式で出力します。メールアドレスにはIM共通マスタのメールアドレス1を使用します。 profile_address_2 組織名<メールアドレス> 形式で出力します。メールアドレスにはIM共通マスタのメールアドレス2を使用します。	code
export.address.dept.static_string	文字列	パラメータ export.address.dept.type で static_string を指定する場合に合わせて指定します。	未設定
export.address.dept.static_domain	文字列	パラメータ export.address.dept.type で code_at_static_domain、full_code_at_static_domain を指定する場合に合わせて指定します。	未設定

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
export.address.public.type	文字列	宛先アドレスがパブリックグループになっているものについて emlでの出力内容を以下から 選択して指定します。 code グループ名<グループコード> 形式で出力します。 例：パブリックグループa<public_group_a> full_code グループ名<グループセットコード-グループコード> 形式で出力します。 例：パブリックグループa<sample_public-public_group_a> code_at_static_domain グループ名<グループコード@固定ドメイン> 形式で出力します。 固定ドメインにはパラメータ export.address.public.static_domain に指定された 値を使用します。 例：パブリックグループa<public_group_a@example.com> full_code_at_static_domain グループ名<グループセットコード-グループコード@固定ドメイン> 形式で出力します。 固定ドメインにはパラメータ export.address.public.static_domain に指定された値を使用します。 例：パブリックグループa<sample_public-public_group_a@example.com> empty グループ名<> 形式で出力します。 static_string グループ名<固定文字列> 形式で出力します。 固定文字列にはパラメータ export.address.public.static_string に指定された値を使用します。	code
export.address.public.static_string	文字列	パラメータ export.address.public.type で static_string を指定する場合に合わせて指定します。	未設定
export.address.public.static_domain	文字列	パラメータ export.address.public.type で ``code_at_static_domain``、full_code_at_static_domain を指定する場合に合わせて指定します。	未設定

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
export.address.private.type	文字列	宛先アドレスがプライベートグループになっているものについてemlでの出力内容を以下から選択して指定します。 code グループ名<グループコード> 形式で出力します。 例：プライベートグループa<private_group_a> full_code グループ名<ユーザコード-グループコード> 形式で出力します。 例：プライベートグループa<aoyagi-private_group_a> code_at_static_domain グループ名<グループコード@固定ドメイン> 形式で出力します。固定ドメインにはパラメータ export.address.private.static_domain に指定された値を使用します。 例：プライベートグループa<private_group_a@example.com> full_code_at_static_domain グループ名<ユーザコード-グループコード@固定ドメイン> 形式で出力します。固定ドメインにはパラメータ export.address.private.static_domain に指定された値を使用します。 例：プライベートグループa<aoyagi-private_group_a@example.com> empty グループ名<> 形式で出力します。 static_string グループ名<固定文字列> 形式で出力します。固定文字列にはパラメータ export.address.private.static_string に指定された値を使用します。	code
export.address.private.static_string	文字列	パラメータ export.address.private.type で static_string を指定する場合に合わせて指定します。	未設定
export.address.private.static_domain	文字列	パラメータ export.address.private.type で code_at_static_domain、full_code_at_static_domain を指定する場合に合わせて指定します。	未設定

無効メールの実データ削除ジョブネット

設定によりメールの実データ削除をユーザ操作から分離している場合、このジョブネットを設定して非同期的に実行することで無効になったメールの実データを削除します。



注意

無効メールの実データ削除を設定により分離している場合はこのジョブネットをは必ず実行するように設定してください。

ユーザが削除した後もメールの実データがDBとストレージに残ったままになり、ディスク容量圧迫の原因となります。



コラム

このジョブネットは ver 8.0.9 以降 で利用できます。

■ 実行パラメータ

パラメータキー	型	説明	デフォルト値
comit-count	数値	コミットを行う件数 0の場合は最後に1度だけコミットします。 データベースにOracleをご利用の場合は900以下、 SQL Server をご利用の場合は 2000以下を必ず指定してください。	0

**注意**

上記の通り、このジョブはご利用のDBにより commit-count の指定が必須になります。指定していない場合、大量の処理対象メールが発生していると、エラー終了する場合があります。

**注意**

このジョブは複数のテーブルの複数のレコードを更新する必要があるため、commit-count が大きい場合 ジョブと画面操作と同時に実行された場合にデータベースのデッドロックを引き起こす可能性があります。（一方のトランザクションがエラーとなりロールバックされます）

ジョブと画面操作が並行して実行されることが想定される場合は commit-countを1に設定して運用してください。

実行するジョブは以下になります。

- メール削除ジョブ：関係者全員から削除され、誰にも参照されていないメールを削除します。